

猛暑の夏をなんとかくぐり抜けて、今年も実りの秋が空を包んできました。日中は、まだまだ暑い日もありますが、黄昏時を越えると涼しい風が吹いて夏の疲れも癒されます。秋の醍醐味と言えばサンマもその代表格のひとつですが、今年はどうやら異変に見舞われているようです。例年に比べて、約8割も水揚げが減っているというニュースを聞けば驚きを隠せません。岩手県宮古市では、「さんま大漁祭」が中止になったのは記憶に新しいところです。庶民の楽しみだったサンマですが、高級魚になってしまうのでしょうか。秋刀魚苦いかしょっぱいか・・・もうそろそろ熱燗も美味いかと思いつつながら舌鼓を打つのを楽しみにされていた方には、なんとも苦いお話です。さて、先の民主党代表選では菅直人首相が再選され、引き続き多方面にてご活躍中です。こちらは、今後の我が国にとって苦くしょっぱい展開とならないようお願いしたいところです。

TECHNICAL TOPICS KRCの技術情報はこちら

国際学会「IABMAS 2010」への参加

2010年7月11日～15日の5日間、アメリカのフィラデルフィアにおいて、IABMAS 2010(International Association for Bridge Maintenance and Safety)「橋梁の維持、安全、管理に関する国際会議」が開催されました。この会議は2年おきに開催され、バルセロナ、大阪、ポルト、ソウルに続いて、今回で第5回目になります。

「IABMAS」は、橋梁の修理手法・管理手段・ライフサイクルコスト・安全性などを題材とし、橋梁保全、安全、および管理の分野への国際協力を促進することを目的とした国際学会です。

今回の学会では500編以上の発表がありました。

その中で、当社は、「Optical monitoring techniques for bridge maintenance & safety」というセッションにおいて、「Deflection measurement for bridges with frequency-shifted feedback laser」、「Development of on-board image measurement system for actual running and application to wall surface surveys of structures」の発表2編と連名論文3編の計5編を投稿しております。前者は、[高精度光計測「FSFレーザー」](#)を用いた変位・たわみ計測事例、後者は、[産業用エリアカメラを用いた「走行型連続画像計測システム」](#)の開発とひび割れ調査事例に関して発表しました。両編とも橋梁の健全性評価手法に関する技術で、以前、本レポートでもみなさまにご紹介しております(WEBレポート42号、83号)。

当社では、国内だけではなく、海外でも当社の開発した技術を発表することにより、当社の技術を国際的にアピールするとともに、特に若手社員の意識向上を図っております。毎年、いくつかの国際学会に参加、発表することにより着実にその成果が現れてきており、今後ますますその機会を増やしていきたいと考えております。

★ウェブ版はこちら:<http://www.krcnet.co.jp/topics/topics47.html>
★IABMAS2010 公式サイト:<http://iabmas.atlss.lehigh.edu/index.htm>



発表の様子

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm> で承っております。